

イロス(Irus)は**イタカ**の乞食である。彼は意地汚さで評判の男だった。イタカの屋敷で、彼は乞食姿の**オデュッセウス**を挑発し、二人で殴り合うことになった。オデュッセウスは一発で、イロスを叩きのめした。

## 解説

- 本名はアルナイオスというが、求婚者たちの使い走りをしていたので、**イリス**（虹の女神、神々の伝令役）をもじってイロスと呼ばれていた。

## オデュッセイアでのエピソード

- イロスは**イタカ**の屋敷に物乞いにやってくると、そこにいた乞食姿の**オデュッセウス**を激しく罵った。二人で殴り合うことになった。オデュッセウスは一発で、イロスを叩きのめした。（**第18歌**）